

積極的に地域へ出向き、身近な相談機関として周知を行い、地域の社会資源と相談者を繋げるために、民生委員や事業所、医療機関等との連携強化を図っています。また、市内でも赤城地区独自に運行している交通支援バスなどの有益な資源を積極的に活用できるよう、職員自らが同乗し利用者視点での理解を深める関わりを心掛けています。

赤城地区は22の行政区から成り立つており、地域差が大きく、区ごとの地域特性を把握するため全地区で地域ケア会議を行うことを目標

〈地域との関わり〉

南北でも積雪量に差がある地域です。地域のサロン等の集まりが20か所超、毎週開催しているサロンもあり介護予防に積極的に取り組んでいます。



会員センターの活動紹介
渋川市赤城地域包括支援センター
(医療法人 群馬会)
渋川市赤城町北赤城山1055-1 ☎0279-26-2218

〈センターと地域の概要〉

当センターは渋川市内の地域包括支援センター8箇所の1つとして平成30年4月に市より業務委託を受け開設しました。職員は保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員の計3名で業務にあたっています。

運営母体である医療法人群馬会は昭和37年に設立し病院運営を経て、平成13年に介護老人保健施設を開設し地域の高齢者医療福祉に携わっています。

〈地域紹介〉

担当する赤城地区は市内北東部に位置し、圏域の人口は令和3年11月現在で9,377人、65歳以上人口は3,872人（高齢化率41.29%）です。

観光いちご園のある平坦部から伝統的な上三原田歌舞伎舞台のある中腹部、赤城自然園がある山間部まで東西に高低差があり、南北でも積雪量に差があります。

「地域の特性に合わせた社会資源の活用をめざして」

に活動しています。コロナ禍ではありますが、感染防止対策を徹底しながら、地道に開催しています。

令和3年10月1日に「渋川市認知症とともに生きる地域触れ合い条例」が施行され、サロンの出前講座でも認知症に関する対応策を分かりやすく寸劇や動画で伝え、認知症の方を地域で支える仕組みづくりに貢献しています。

今後も早期の相談に繋がるよう、地域の方々と顔の見える関係作りに努め、身近な相談場所として活動していくと思います。



募集!

会報「つながり」では、会員センターの皆さまの活動紹介を募集しています。
お互いの活動を見て、刺激し合えるような紙面にしていければと思います
ので、奮ってご応募ください。

★ 会員センター募集 ★

皆さんも研修会や会報の企画を通して、地域の「つながり」づくりに参加しませんか。

本協議会では、会員センターを募集しています。

会 費

地域包括支援センター	年 35,000円(県 15,000円 全国 20,000円)
在宅介護支援センター及び地域包括支援プランチ	年 25,000円(県 15,000円) 全国 10,000円)

会員センター数 (R 4. 2. 1 現在) : 91

地域包括支援センター (プランチを含む) : 77 在宅介護支援センター : 14

詳しくは事務局 (☎ 027-255-6034) までお問い合わせください！